

伊万里 市議会だより

第43号

平成24年
(2012年)

10月



伊万里のゆるキャラ
いまりんもーもちゃん



伊万里トンテントンモニュメント



腰岳より伊万里湾を望む



9月補正額：8億2,816万円 予算総額：214億9,173万円 (対前年度同期 -8億190万円、-3.6%)

★平成24年第4回定例会は12月3日(月)開会予定です。

平成24年伊万里市議会第3回定例会
会期日程

9月

9月3日～21日 19日間
開議時刻 午前10時

日	種別	内容
3(月)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案 23件……一括上程 市長提出議案の提案理由説明
5(水)	本会議	議案に対する質疑
6(木)	本会議	議案に対する質疑 決議案の上程(企業会計決算審査特委設置) 決議案の提案理由説明 決議議案に対する質疑 決議議案の討論、採決 特別委員会委員の選任 特別委員会正副委員長の互選 議案の常任委員会及び特別委員会付託
7(金)	休会	特別委員会(交通網・港湾・企業誘致)
10(月)	休会	特別委員会(防災・環境施設)
11(火)	本会議	一般市政に対する質問
12(水)	本会議	一般市政に対する質問
13(木)	本会議	一般市政に対する質問 市長提出追加議案1件……上程 市長提出追加議案の提案理由説明 議案に対する質疑 議案の常任委員会付託
14(金)	休会	常任委員会
18(火)	休会	常任委員会
19(水)	休会	正副委員長会
21(金)	本会議	市長提出追加議案12件……一括上程 市長提出追加議案の提案理由説明 市長提出追加議案に対する質疑 決議案等の提案理由説明、質疑、討論、採決 特別委員会委員の選任 (一般会計及び特別会計決算審査特委設置) 特別委員会正副委員長の互選 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会中間報告 特別委員会中間報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 閉会

ホットコーナー

「地域コミュニティの原点」

今年も実りの秋がやってきました。
毎年、全国それぞれの地域において、「五穀豊饒や地域の安寧(あんねい)」などを願って様々な形態でお祭りが開催されています。
祭りの大小にかかわらず、そこへ集まる人々の表情(笑顔)はみんな素晴らしい。
古くから伝わる「祭り」は、老若男女が集い地域を語り伝承する所にその良さがあります。
故郷の祭りは大切に守っていききたいですね。

～いまり秋祭り～

- 日時 10月28日(日)11:30～18:30
 - 会場 伊万里駅通り ※浜町交差点特設
 - 内容 11:30～ わっしょいパレード
14:30～ 伊万里太鼓演奏
15:00～ 「トンテントン模擬合戦」
※伊万里神社御神幸祭
15:30～ 市民総踊り
16:30～ 太鼓フェスティバル
- ★主催 いまり秋祭振興会

～トンテントン祭り～

- 日程 10月26・27・28日(金土日)3日間
- ★主催 伊万里神社御神幸祭実行委員会



次の人事案件を同意しました

人権擁護委員

荒木 邦明氏

伊万里市教育委員会委員

平山 幸彦氏 道山 和美氏

議案質疑

空き家等の適正管理に関する
条例

質問 行政が空き家の倒壊な
ど住民に危険性があると判断

し、調査・助言・指導・勧告・
公表・行政代執行等を定める
条例制定に向けた決意は。

答弁 市長

住民の皆様の安全・安心と
空き家等の倒壊の恐れがある
ものに対して、市として何ら
かの対策を必要と感じた。

意見書

○地方財政の充実・強化を求
める意見書

○北朝鮮による日本人拉致問題
の早期解決を求める意見書

お詫びと訂正

市議会だより第42号で掲載
いたしました人権擁護委員の
氏名を誤って記載しており
ました。

正しくは、松尾文子氏の
新

任。
お詫びと訂正を致します。

空き家等の適正管理に関する条例

～ 空き家等適正管理に関する施行規則について ～

1. 条例制定の背景と目的

近年、住宅地等において、適正に管理されずに放置され、老朽化・荒廃化した空き家等（建築物とその敷地を含む。）が増加し、倒壊事故や犯罪等の危険性など周辺住民の生活環境への悪影響が全国的な課題となってきました。

建築物やその敷地等は、他人に損害を与えぬよう所有者や管理者等が適正に維持保全すべきものですが、伊万里市においても、適正に管理されていない空き家等の相談が増加しております。

この条例は、空き家等の適正な管理に関し必要な事項を定めることにより、倒壊等の事故、犯罪及び火災の未然防止、並びに生活環境の保全を図り、もって、市民の安全で安心な暮らしの実現に寄与することを目的とする。



2. 対象となる物件

- ① 空き家等……市内に所在する建物その他工作物（既に倒壊したものを含む。）で常時無人の状態にあるもの及びその敷地をいう。
- ② 危険な状態……
 - 1) 老朽化又は台風等の自然災害によって、建物その他の工作物が倒壊し、又は当該建物その他工作物に用いられた建築資材等が飛散することにより、人の生命身体若しくは財産に害を及ぼすおそれのある状態
 - 2) 不特定の者の侵入により、犯罪又は火災を誘発するおそれのある状態
 - 3) 樹木等の繁茂又は害虫等の発生により、生活環境の保全に支障を及ぼすおそれのある状態



3. 市の対応

- ① 助言及び指導
空き家等が危険な状態にあると認める場合について、「助言及び指導」を行いません。
 - ② 勸告
所在者等が、上記の「助言及び指導」に応じず「指導」時よりも程度が悪化した場合、期限を定めて「勸告」を行いません。
 - ③ 助成
経済的な理由等により、「助言及び指導」・「勸告」の措置（建築物の除却）ができない所有者等に対して、その工事費の一部を助成することにより、適正管理を促します。
 - ④ 寄付
経済的な理由により、「助言及び指導」・「勸告」の措置（建築物の除却）ができない所有者等が、土地建物を市に寄附することにより、市が措置（建築物の除却）を行い、跡地の有効活用を図ります。
 - ⑤ 命令
所有者等が、特別な理由がないにもかかわらず、期限までに「勸告」に従わない場合、期限を定めて「命令」を行いません。（行政処分）
 - ⑦ 公表
所有者等が、特別な理由がないにもかかわらず、期限までに「命令」に従わない場合、氏名等を公表します。
 - ⑧ 行政代執行
所有者等が、特別な理由がないにもかかわらず、期限までに「命令」に従わない場合で、著しく公益に反すると認められるときは、行政代執行法に基づき、代執行を行います。
※代執行に要した費用は、行政代執行法に基づき、国税納付処分の例により、徴収します。
- 関係機関との連携
必要な場合は、市区域を管轄する警察その他関係機関に必要な措置を要請します。

『議会配付資料より』

※詳細につきましては建設部にお問い合わせ下さい。

総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

平成24年第3回定例会に於いて、当委員会に総務部関連で条例議案2件、補正予算議案で1件、一般議案3件、計6件、政策経営部関連で補正予算議案で2件、一般議案2件、計4件、消防本部関連で条例議案1件、補正予算1件、計2件、合計12件が付託され全体議案審査の結果、原案の通り可決及び承認すべきと決定いたしました。

以下、主な議案についての説明

1 議案第58号 伊万里市防災会議条例及び伊万里市災害対策本部の一部を改正する条例制定について

本年6月の災害対策基本法一部が改正され地域防災計画に関するだけでなく、市長の諮問に応じて全般的に防災に関する重要事項を審議することを新たに追加するものがあります。



平成24年9月2日(日) 伊万里市原子力防災訓練

2 議案第59号 伊万里市税条例の一部を改正する条例制定について

東日本大震災を教訓として、全国の自治体に於いて取り組まれている防災対策にかかる費用の財源を確保するため時限的な臨時の特例措置として、個人市民税の均等割の標準税額に500円を加算すると言うものです。期間は平成26年度から35年度までの10年間です。尚、本税額処置での増収分は今後、消防本部で取り組まれる消防救急無線デジタル化推進事業の財源に充当するものである。

3 議案第78号 平成24年度伊万里市一般会計補正予算(第6号)について

大連現代博物館における伊万里市PR事業中国5都市で開催される「江戸の名陶 伊万里展」の大連市開催に併せて、伊万里鍋島焼や伊万里市の産業、観光地、特産品、大連との交流の歴史を写真やパネルで紹介する「伊万里市PR事業」を実施する予算。

「国際情勢が不安定の中での事業実施であり賛成できない」との反対意見が出され、大いに議論したところである。可否同数であったため委員長採決で本予算を可決した。

◎渡邊 英洋 ○盛 泰子
内山 泰宏 東 真生 副島 明
馬場 繁 山口 恭寿 松永 孝三

文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、
教育委員会

本委員会に付託されました条例議案一件、補正議案4件について審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。主な内容は下記のとおりです。

地域共生ステーション推進事業…5,000千円

住み慣れた地域の中で、安心して生活ができるよう福祉サービスを協働し、支援していく地域の拠点の新設に対する一部補助。

延長保育促進事業……………1,728千円

仕事と子育ての両立を支援するため、30分延長して保育を行う私立保育園へ補助金を交付しているが、需要ニーズが増加しているための増額。このことについては、これまでの補助単価の引き下げと今回増額の理由について質疑があった。県内の基準が30万で推

行政視察報告（7月9日～12日）

介護支援ボランティア制度について

（東京都稲城市）

人口85,000人の稲城市では、今後進む高齢化社会を迎えるに当たり、若い高齢者の社会参加の促進や、人材の活用が大きな課題としてあった。

そのような地域事情を介護保険制度に反映させたい、という思いから国と議論をし、介護支援ボランティアの特区を勝ち取り、介護予防事業として全国に先駆けて平成19年より開始されている。

介護支援ボランティア制度としては、高齢の方が介護保険施設などでボランティア活動を行った場合、活動実績に応じてポイントが与えられ、これに対して交付金（年間最大5千円）を交付する制度です。

高齢者自身の社会参加活動を通じた、介護予防を目的としています。ボランティア活動としては、レクレーション等の指導、参加支援、食堂内の配膳、下膳・話し相手・職員とともに軽微かつ補助的な活動があつている。

現在受け入れ団体は21。登録者は468人。すでに介護保険制度の一つとして定着しているように感じた。伊万里市においても、基本計画に挙げられているが進んでいない。早急に実情の把握と実施に向けての検討を強く感じた。

移する中、本市が24万円と差がつきはじめてきたことへの危惧があり、基準に合わせる形での増額になった旨の説明があつた。

小・中学校パソコン管理事業……8,000千円

市内小中学校に配置している、電子黒板の有効活用のため、デジタル教科書の導入を行うもの。小学校（1年～6年）に国語。中学校（1年～3年）に社会・理科のソフト購入。質疑の中で今後については、十分な利活用のためにも、各フロアーに一台設置するよう計画したい等の答弁がなされました。実際にデモンストレーションを見る中で、授業でのわかりやすさと、学力向上につながっていく可能性の大なることを期待したい。同時にICT支援者の充実と、教職員の技術習得も今後の課題として十分に検討を望みたい。



電子黒板を活用した授業風景

知的障がい者雇用事業について

（横浜市健康福祉局）

昭和56年からこれまで、雇用については身体障がい者が大半で法定雇用率も達成されている中、平成15年から30人の知的障がい者の実習受け入れによりノウハウの蓄積を図り、19年～21年にかけて3人の雇用を開始。21年～22年には6か月期限付きで15人を国からの基金を活用し、様々な部所に配置されてきている。主な仕事としては、パソコンでのデータ入力、庁内メールの運搬・仕分け・書類の整理・資料スクラップ作業等々である。

23年からは、人事施策へと移り発展している。受け入れ職場では、明るくなりコミュニケーションが活発・障がいのある方の理解と一緒に働くこと・職員の超過勤務の縮減などがあつている。伊万里市での障がい者雇用の在り方について様々なヒントを頂いた。他に、学校の適正規模及び適正配置について（板橋区）。「WEB図書館（千代田図書館）」を視察しました。

◎樋渡 雅純 ○福田 喜一
前田 久年 井手 清敏 梶山 太
多久島 繁 草野 譲 高木 久彦

産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

付託されました条例議案1件、専決処分の承認を求める議案1件、平成24年度伊万里市一般会計補正予算1件、特別会計補正予算4件、以上諸議案について、9月14日及び18日の産業建設常任委員会にて審査の結果、原案のとおり可決及び承認すべきものと決定いたしました。

主な内容・意見は次の通り。

・伊万里市空き家等の適正管理に関する条例制定については、近年増加傾向にある空き家問題に対して、事故防止、市民の安心・安全を守る目的で、行政が関与して解決を進めるために必要な条例が制定されました。

今後早急に空き家等の実態調査をし、その後生じる事案については、第三者委員会を設置して内容を十分に審査することを要望して、可決しました。



9月18日、市内の空き家状況2箇所を現地視察しました。

【労働費】

・県の基金を活用しての緊急雇用創出基金事業については、13事業で延べ33名の新規雇用が図られます。

地元伊万里の雇用創出という事業目的に適った運用をするよう要望しました。

【農林水産業費】

・新規就農者確保事業は、青年就農者に対する給付金給付制度で、給付対象者が増加したため、3,750千円が増額されます。

・農地・水保全管理支払交付金事業のうち、共同活動支援事業が交付率低減による減額、向上活動支援事業は16地区を追加して事業を行うため増額となりました。

【商工費】

- ・商店街とNPO法人『まちづくり伊万里』が、国の地域商業再生事業費補助金を活用して行う地域状況調査分析事業を、市としても支援します。
- ・伊万里ブランドフェアが、7月14日から8月31日まで福岡市で開催され、会場の『レストラン・ヴァンテアン』には 期間中5,062名の来場と、641件のアンケート回収の報告があり、伊万里製品のPR効果を見て取れました。

今議会では、10月も引き続き 同レストランで『秋の収穫祭』を開催する計画が提案され、さらに 本来目的である伊万里への誘客に繋げていくものです。



産業建設委員会で、7月25日に博多駅ビル・阪急での伊万里PR活動に参加してきました。

【土木費】

- ・道路維持事業に60,000千円、河川管理事業に1,200千円、それぞれ追加されました。
- ・佐賀県の事業メニューである住宅リフォーム緊急助成事業を活用して、市内で住宅リフォーム工事を行う者に、68,200千円の追加助成が行われます。

【災害復旧費】

- ・6月、7月の梅雨前線豪雨による災害について、7件の災害復旧事業が追加されました。

【水道部より報告】

- ・第4工業用水道事業貯水施設建設工事仲裁申請について、7月24日に 国土交通省において第2回目の中央建設工事紛争審査会が開かれ、次回は10月15日に開催予定との報告がなされました。なお、審査会の内容は非公開です。

◎松尾 雅宏 ○前田 和人
香月 孝夫 井手 勲 松尾 博幸
笠原 義久 占野 秀男 田中 啓三

交通網・港湾・企業誘致対策調査特別委員会

1. 西九州自動車道の整備

唐津伊万里道路については、北波多ICから谷口ICが平成26年度、谷口ICから伊万里東ICまでが29年度供用開始を予定されていて、伊万里東ICまでは用地買収が約95%です。

伊万里道路については、伊万里東ICから伊万里中ICまでは用地測量未実施箇所を除き、平成23年度までで約16%の用地取得です。

伊万里松浦道路については、山代ICから今福ICまでは平成26年度供用開始予定であり、用地未買収の約1%について土地収用法により用地を取得するとの説明がありました。

西九州自動車道建設促進協議会は伊万里・平戸・松浦の3市議会で構成されていましたが、今年度より佐々町議会に加入をいただき、建設促進の要望活動を行いました。

2. 港湾整備等

伊万里港コンテナ貨物の現状は、ここ数

年3万TEUで頭打ちの状態、輸出入のバランスが悪く、沖待ちが発生している。その打開策として、七ツ島地区のマイナス13m岸壁整備、ガントリークレーン整備が急ピッチに進められており、平成25年度から供用を予定されています。

浦ノ崎地区の廃棄物処理用地について、大水深や西九州道路に近い等の優位性を生かすため、一刻も早い港湾計画の変更が待たれるところです。

3. 企業誘致

本年4月から8月末までの、企業訪問等による立地勧奨は延べ4社で、立地企業に対するフォローアップは延べ73社への訪問がなされている。

ここ数年続く円高等により、国内製造業は非常に厳しい経営を強いられており一部海外進出の動きも見られるようです。今後、市内誘致企業等の動向について、注意深く見守っていかれる事を要望しました。

行政視察報告（8月28日～30日）

(1)日南市油津港

餌肥杉の積み出し港として発展してきた歴史があり、復元した堀川運河を中心としたみなとまちづくりが進められていて、古伊万里文化の香り漂うまちづくりを進める本市にとって大いに参考になる事例でした。

課題としては、ヤード不足や災害のための耐震機能を有する新たな岸壁の整備が必要であり、貨物の集荷と災害時の避難道路として、東九州自動車道清武南～日南間の早期整備が不可欠であるとの認識で国への働きかけを強めていきたいとの事でした。

(2)志布志港

食品製造輸出を中心にインセンティブ事業を有効に使われており、またその利用促進のため、鹿児島県とともにポートセールスも国内外に向け強力に推進されています。また、コンテナヤードの背後地には用地が十分に確保され、ガントリークレーンが2基据わる国際ターミナルからは、今後の伸びが予想されました。

(3)福岡市博多港

外貨コンテナ取扱量全国第6位の特定重要港湾の博多港は、商業都市福岡市を背景に着

実にコンテナ取扱量を増やしています。9台のガントリークレーンが備わる国際コンテナゾーンは、先進的なターミナルITシステムで管理されており、エコへの取り組みも積極的に行われています。

博多港では30年後を見据えた博多港長期構想を策定されており、わが伊万里港でも長期的な展望に立った戦略策定が急務であると思われる。



博多港国際コンテナターミナル

◎多久島 繁 ○松尾 博幸
井手 清敏 井手 勲
松尾 雅宏 高木 久彦 福田 喜一

防災・環境施設対策調査特別委員会

特別委員会報告

1 伊万里市の防災行政について

(1) 原子力防災資機材の配備等について

4月25日、佐賀県によって、玄海原子力発電所から半径20キロ圏内にある市内の学校や公民館、10箇所にて7,500人分（成人換算）の安定ヨウ素剤が配備されました。また、4月27日には、佐賀県によって可搬型放射線測定装置（モニタリングポスト）が南波多公民館、黒川公民館、山代公民館に設置されたほか、固定式モニタリングポストも今年度中には市内3箇所を設置される予定です。視察先の島根県出雲市、雲南市においては安定ヨウ素剤の配備やモニタリングポストの設置はまださされておらず本年度中の予定であるとの説明を受けました。



可搬型モニタリングポスト

(2) 伊万里市地域防災計画の見直しについて

5月30日に、伊万里市地域防災計画が改定され、なかでも原子力災害対策編では、市内には玄海原子力発電所から30km以上離れた地区があるものの計画の対象地区は市内全域と定めたほか、避難の際には自治会ごとに同一避難所（地域）を指定することなどが定められています。視察先の島根県内では原発立地自治体である県庁所在地松江市の住民を受け入れることになっており視察先自治体では県外への避難となることから担当職員が県外の自治体へ直接出向いて協力を求めている現状であり、まだ避難先が決まっていないとの説明がありました。

(3) 伊万里市原子力防災訓練について

9月2日に伊万里市・武雄市合同での原子力防災訓練が実施されました。約1,000人の参加者（伊万里市関係687人）のもと、可搬型モニタリングポストの起動訓練や（波多津町、黒川町、南波多町から）マイカーでの武雄市北方公民館への避難訓練などが実施されております。今回の訓練では、実際の避難を想定してマイカーによる避難を行うなど、課題の洗い出しが行われております。

2 佐賀県西部広域環境組合ごみ処理施設について

(1) 事業の進捗状況について

現在、佐賀県西部環境組合において事業用地の取得が進められておりますが、全ての地権者の同意は間もなく完了するとの報告がありました。また、プラント建設に関しては、これまでに入札公告、技術ヒアリングが行われ、10月頃には正式に工事契約が締結される予定です。

(2) 地域振興策について

実施期間を平成25年度から平成34年度までの10年間とし、総事業費は11億5千万円を上限とすることが承認され、6月21日の同協議会総会の場においても承認を受けたとの報告を受けました。振興策の具体的な内容については、今後詰めていかれることとなりますが、維持、管理が必要な施設については西部環境組合の担保が必要だとの意見がでております。

◎笠原 義久 ○副島 明
香月 孝夫 前田 和人
梶山 太 山口 恭寿 樋渡 雅純

一般質問事項

一般質問 (質問順)

議員名	質問事項	議員名	質問事項
渡邊 英洋 (一問一答)	1. 伊万里地区高校再編計画について (1)これまでの経緯 (H23.9以降) (2)小学校、中学校卒業生の進学状況 (3)県立高校生徒減少期対策審議会の答申を受けて 2. 道路網整備について (1)県道伊万里有田線 (セラミックロード)		1. 危機管理について (1)原子力防災訓練の状況と今後の課題 (2)九電との安全協定締結へ向けて (3)エリアメールの社会実験 (4)職員等への緊急連絡方法 (5)防護服配備の見通しと救急棟 2. 情報の共有について (1)市役所ホームページのあり方 (2)行政委員会、各種審議会等会議録のホームページ公開 (3)行事カレンダーの改善 3. 子育て支援について (1)公立保育園の環境整備 (2)一時預かり事業補助金 (3)障がいのある子どもたちへの支援 (保育園・幼稚園) 4. 公民館について (1)中央5館臨時職員の勤務時間延長
多久島 繁 (一問一答)	1. 市が管理する運動施設について (1)国見台野球場の管理状況 (2)運動公園の管理について	盛 泰子 (一問一答)	
山口 恭寿 (一問一答)	1. 国見台プールの利用状況について 2. 伊万里の観光戦略について (関係団体との連携について)		
樋渡 雅純 (一問一答)	1. 各種情報の伝達と被害情報の収集 (1)多様な伝達手段の確保 (2)緊急速報メールの活用 (3)情報収集の体制 (4)今後の課題 2. 橋梁の長寿命化計画について (1)本市橋梁の現状把握 (2)計画の目的と効果 (3)財政確保の見通し	松尾 雅宏 (一問一答)	1. 有害鳥獣について 2. 人・農地プラン (地域農業マスタープラン) について 3. 西部広域環境組合の現在について
笠原 義久 (一問一答)	1. 市民生活に及ぼす個人情報保護法の問題点について 2. 伊万里牛課の目的と伊万里牛の定義について 3. 伊万里中学校校舎破損事件について	井手 勲 (一問一答)	1. 高齢者福祉施設「老人憩いの家」について 2. 市内における有害種の現状と対策 3. 通学路の安全対策 4. 学校における情操教育の推進について
占野 秀男 (一問一答)	1. 市民スポーツの振興策について 2. 教育委員会の役割について		



一般質問

高校再編について

渡邊 英洋

質問 ①昨年の九月定例会に於いて、「高校教育に関する関係者会議」を年二回は開催するとの答弁があったが開催されたのか。②この高校再編について広く市民の意見を聞く審議会等を設立したらどうか。③八月二十九日に「県立高校生徒減少期対策審議会」から発表された答申に対し市としてどう対応するのか。

答弁 市長・政策経営部長

①関係者会議については、昨年の十二月二十六日、今年八月三十一日と二回行った。内容としては、市内三高校の現状、課題、特に八月三十一日の会議では、伊万里地区の生徒数の将来推計や市内小中学校の進学状況について最新状況を報告又、八月二十九日に発表された「生徒減少期に対応した県立高等学校教育の充実、発表に資する対策について」



(答申) についての説明を行った。尚、次回の開催は十月に予定をしている。

②市民の意見を広く聞く新たな審議会は設けず、産業、教育等幅広い分野の方々に参加いただいている現在の「高校教育に関する関係者会議」で対応していきたい。

③審議会の答申については、今後、県教育委員会からもかなりシビアな再建計画が打ち出されるものと思される。市としましては「高校教育に関する関係者会議」を設置しており、ここで十分議論していただき、県教育委員会に対し物言える環境づくり、考え方を明確に構築して行くことが現時点では重要と考える。

※二問の「道路整備については紙面の都合で割愛しました。

国見台野球グラウンドの土がピンチだ

多久島 繁

質問 黒土が流されて砂の割合が多くなり、プレーに支障をきたしていると思われる。そんな中、整備・掃除を目的に硬式野球6チームの輪番制でグラウンド整備が行われているが、整備上の不備があったのか。又、掃除用具等の不足はないのか。

答弁 教育部長

整備上の不備や約束事が守られないこともあった。掃除用具の不足はない。

質問 昨今、女性の観客が増えているなか女性専用トイレが不足していないか。

答弁 教育部長

専用トイレは一基あるが、今後、推移を見守りながら検討する。

質問 市外・県外のチームが試合前のアップに、未使用の球技場を充てられないか。

答弁 教育部長

球技場が未使用の場合、グラウンドのすみを利用してボールを使わないアップは認めている。

利用頻度が高い東山代運動広場トイレの手直しを！

質問 お年寄りが座って出来る簡易洋式トイレ設置をはじめ、少しばかりの用具・道具の充実が出来ないか。

答弁 教育部長

簡易洋式トイレ・水道の延長・用具等について検討する。

浦ノ崎運動広場の管理

質問 事情等あると思うが、他運動広場と比べて年間管理費の高い当運動広場の費用対効果について見直す考えはないか。

答弁 教育部長

指摘されていた点についても指導をしてきている。今後、適切な管理が出来るよう要請し、今後の管理体制についても考えて行く。

国見台プールの利用状況について

山口 恭寿

質問 今期4474名の利用があるが160万円程赤字が出ている。各小学校では、校区内しか子供達だけで自転車はむろん遊びにも行けないという校則がある。国見台の利用者を増やすために、各学校に要請してみてはどうか。

答弁 教育部長

来期、校長会で検討する。

質問 予算を確保したら終わりではなく、ある程度民間の経営感覚を持って施設運営を行って欲しい。

答弁 教育部長

来年度以降の入場者数増加の方策として、スイミングスクール、水泳協会、学校等と連携を取り、着衣水泳や他の方法も含めて検討させて頂きたい。

観光行政について

質問 大川内山で「梨」や

一般質問

「伊万里牛」を売っているお店がない。南波多のふるさと村にも充分に風鈴が売っていない。行政が間に入り連携をとる必要があるのではないか。

答弁 産業部長

パンフレット等に対応している。また福岡市において陶磁器組合やJA伊万里と連携して伊万里の器を使って伊万里の食材を扱った伊万里ブランドフェアを開催し大盛況に終わっている。

質問

パンフレットでは実物のよさはわからない。是非本物を置いて対応を。また市は福岡市でPRを行っているが、風鈴等は市の玄関口である伊万里駅や市の顔である市役所にも風鈴を置いて、観光客に満足してもらい、市民の方にもご理解と協力して頂けるよう努めるべきではないか。

答弁 市長

確かに風鈴等の仕掛け作りに関しては気づきと言うのが不足していた。経費を全部もつのは別として、行政がリードしてできる所は進めて行きたい。

橋梁の
長寿命化計画

樋渡 雅純

質問

橋、道路など社会資本の多くは耐用年数50〜60年を経ている。今後10年20年後を考えると、老朽化による防災力の低下が大変懸念され、その対策も急を要する。①本市の橋梁数と年数別の数は②目視の点検で大丈夫か、点検の結果は③計画的に維持管理したときの財政的効果は④今後、総合計画の中に明確に位置づけをし管理運営をすべきでは。

答弁

①②③建設部長
④市長

①全体で713橋、経過年数30〜40年は39橋、40〜50年は34橋、50年以上は15橋。②点検の対象は178橋で、県の点検実施マニュアルで行い損傷の軽い順で、A判定7橋、Bで111橋、Cで56橋、非常に危険なE判定4橋。③具体的には計画を待つてしか示せないが、

将来懸念される要因に大きな効果を発揮する。④点検後の診断結果を見て検討したい。

情報の伝達と収集

質問

どこでも起こり得る地震、風水害に対し地域の防災力をどう高め、災害に強いまちづくりを行うかは、本市の大きな課題の一つ。

①避難情報が伝わりにくい状況の中、中身の工夫やその見直しも必要では。②防災行政無線システムの設置は全国約80%の自治体が設置済み。災害に強いまちづくりを考えればこのシステムは、検討段階から実施計画作成へと決断すべきでは。

答弁

①他市の事例を参考に、より良いものに検討したい。

②様々な検討が成されている中、手法、財政も含め早急に基本計画の策定を進めていきたい。その後実施計画のほうに移っていくことになるかと考える。

市民生活に及ぼす
個人情報保護法の
問題点について

笠原 義久

質問

運用するに当たって問題点の指摘や苦情はないか。

答弁 総務部長

市民の個人情報の不正な取扱いは厳正に禁止されている。問題点の指摘は現在までないが、情報の提供を求められても自治体に判断は出来ない。必要となれば市の個人情報審査会に諮る。

質問

個人情報保護法が制定されてから地域住民が戸惑っている。以前の様に民生委員に世帯台帳の提供は出来ないのか。

答弁 市民部長

昨年八月、審査会に計った結果、民生委員の所属が不明であることから情報の提供は出来ないとの結論に至った。

質問

市民の利益になる事で該当する本人の了解を得られれば可能だと考えられる。

伊万里牛課の目的
と伊万里牛の定義
について

答弁 産業部長

市内畜産農家は社会経済状況悪化の中、飼料の高止まり、枝肉価格の低迷等で苦慮している。国県の補助事業費を活用し、JA伊万里と協力体制を作りながら肥育牛の振興と消費拡大を目的としている。

質問

商標権は伊万里市が所有していると聞いているが伊万里牛の定義は。

答弁 産業部長

伊万里市管内で生産される黒毛和牛を伊万里牛という。ただ、流通過程の中で、県経済連を通過する牛は佐賀牛の名称を使っている。全国格付協会で高い評価を受けているので肉質の維持と生産量の確保が必要となっている。



一般質問

市民スポーツ
振興について

占野 秀男

質問 スポーツ都市宣言をしているのに、市営射撃場の閉鎖は納得できない、から質問してきた。

その中で教育長は「閉鎖」は教育委員会にも諮って決断した、と答弁されたが議事録で教育委員長は、「これまで議論では方針は決められない」と発言をされている。

閉鎖を議論した議事録はない。教育長の独断であり見直しを考えるべきではないか。

答弁 教育委員長

議事録の通りですが、その後議題には無いが報告時に閉鎖の話も出た。

質問 何十年の歴史あるスポーツ施設を閉鎖するのに、

議題にもあげず、議事録にも残さず、質問されると協議した、で済まされない。

答弁 教育長

議事録を残さなかったの

は配慮が足りず申し訳ない。ご指摘の見直しは今後十分考えます。

教育委員会の
役割について

盛 泰子

質問 伊万里市内の小中学校で「いじめ」等の問題は起きてないか。

答弁 教育部長
今年度いじめ3件、暴力2件が報告されている。

質問 昨年9月の議事録には、生徒の教師に対する暴言、威嚇、暴力が多くある。女性教師への暴言もある。と報告されているが、対策は何も論議されていない。

答弁 教育部長

まず実態を認識するため報告された。対策は、その後論議する。

質問 その後では遅い、早

めに対策をすれば伊万里中学校事件は起きなかったのでは。

答弁 教育委員長

学校、地域、保護者など社会全体で対応できるよう努力する。

子育て支援

盛 泰子

質問 ①過去3年間の公立保育園修繕箇所と今後の対応。②一時預かり事業補助金の充実。③障がいのある子ども達への支援強化。

答弁 ①②市民部長
③教育部長
①調理室のボイラー関係31件、トイレなど水周り12件。園児の安全確保に配慮しながら施設整備に取り組む。②県内の状況を調査し、予算編成で検討する。③支援を要する児童生徒は330人程度で特別支援教育支援員は28名。十分な支援を行うのが難しい状態。

公民館臨時職員

質問 3人体制の伊万里、大坪、立花公民館は利用実績が格段に多い。臨時職員の時間延長が必要だ。

答弁 教育部長

今年度から代休制度を止

め残業手当を5館で351時間分確保した。大坪では緊急雇用で1名増員しているが、公民館長などと意見交換して状況を見る。

危機管理

質問 ①九電との安全協定

に關し市長会での統一行動から唐津市が外れたのは心外。これまで蚊帳の外に置かれ続けてきたので、今こそ知事に仲介を求めべき。②緊急時の職員への連絡に携帯メールを採用すべき。③救急棟の取り組み。

答弁 ①市長
②総務部長
③消防長

①唐津市が「事前説明」で落ち着いたため知事は説得に出ると思われ、関与を求めると考えはない。②緊急招集の連絡方法の一つとして検討する。③実現へ向けて、次の「実施計画」へ掲載する。
(一問省略)

冬季のイノシシ
駆除について

松尾 雅宏

質問 イノシシの捕獲頭数は昨年2700頭と年々増加しているのに反し被害は拡大している何故か。

答弁 産業部長

耕作放棄地が増加しているのと、イノシシの栄養状態が向上し個体数が増加しているからと考えています。

質問 答弁にあったが個体数が増加しているのは繁殖期間である冬季の捕獲が報奨金対象でないため少ない。通年での報奨金制度は可能か。

答弁 産業部長

冬季は県の助成がないため市単独では厳しいと考え

質問 では、国の事業に本

年から鳥獣捕獲実施隊を編成し駆除に従事すれば経費の八割は特別交付税措置とあるが、その取り組みは可能か。又すでに武雄市は取り組まれているが。

一般質問

答弁 市長

精魂込めて作った農産物が一夜にして荒らされる事は農家にとって大きな問題と認識しています。被害が拡大する一因が繁殖期に捕獲していないのであれば、私としても取り組まねばと考える。武雄市に出来て伊万里市に出来ぬはずはない。二十五年度は議員提案の捕獲実施隊の編成に取り組み。

西部環境組合
(ゴミ処理施設)

質問 二十三年十二月議会でこの施設建設については地元企業参入についての配慮を強く要望していたがどうなったか。

答弁 市民部長

市としても建設地である地元企業の参入を働きかけ、結果として取り付け道路工事(三億)については全て伊万里市内業者となりました。又敷地造成工事については四市五町に配慮して、三つの工区に区分し、武雄・鹿島・伊万里土木事務所管内の企業体で入札を行う事となっております。

老人憩いの家
について

井手 勲

質問 ①どういう目的で建設されたのか。②利用者状況(他町民利用者数)。③高齢者の活動拠点及憩いの場を希望する地域に設置は。

答弁 市民部長

①高齢者が自由な雰囲気の中で語らい、自らの教養を高め心身の健康増進を図る。

②23年度大川2911人(106)、山代3287人(285)、波多津3929人(323)、センター2万1632人(1万5016)が利用されセンターを除き他町からの利用者が少ない。福祉バスの活用をお願いしたい。③国や県の補助事業なしでの市単独事業としての建設は難しい。

答弁 市長

今の施設はそのまま活用し、今後新たに考えるとすれば高齢者の生きがい作り施設を検討する考えは

ある。

市内における有害
種の現状と対策

質問 ①市内の有害種の生息状況について。②ジャンボタニシが広がった経緯と被害状況について。③被害農家への支援策。

答弁 ①市民部長
②産業部長

①アライグマやウシガエル、ブラックバス、ブルギル等が市内全域にいる。②昭和56年に台湾から養殖目的に、人為的に輸入され野生化した侵入有害動物である。昭和60年に県内で、現在は市内全域で確認され発生被害共に拡大している。③薬剤の散布も有効な駆除手段ではあるが、発生の防止との両面から農家のみなさんの対応をお願いしたい。薬剤購入に対する補助金は今のところ考えてはいないが、こういった方法が有効な対策なのか、JAや県・関係機関と協議したい。

※一部割愛しています。

行政視察受け入れ状況

月	来訪議会名	人数	視察項目
5	兵庫県赤穂市議会	9	1 特色ある学校づくりについて
			2 いじめなし都市宣言について
7	愛知県稲沢市議会	1	1 国際交流事業、友好協会等の活動について
8	福岡県粕屋郡粕屋町議会 諸派	3	1 学校給食センター (PFI) について
	佐賀県嬉野市議会	9	1 原子力対策について
	岩手県宮古市議会	5	1 認知症予防事業の取り組みについて



平成23年度

決算特別委員会

企業会計

○◎ 草野繁 馬場久 前田人 前田敏 井手清 副島明 山崎義 笠原久 占野秀 占野男

審査日程 11月1、2日

一般会計・特別会計

○◎ 松尾博幸 松永三幸 香月孝夫 東真生 井手勲 梶山太 多嶋繁 樋渡純 渡邊英洋

審査日程 11月1、2、5、6、7日 (予備日8日)



市議会議員研修

猛暑が続く8月3日(金)午後より、佐賀市マリトピアにて開催されました。

この研修会は、毎年持ち回りの事務局で、今年は神崎市議会の担当でした。

議員の資質向上や時局の知識を高めることを目的としており、毎回講師をお招きして講演を拝聴しております。

今回は佐賀県白石町出身で総務省自治行政局過疎対策室長の山口祥義氏を講師として迎え、「我が国の条件不利地域と近現代史」肥前の将来を考えながら「」をテーマにした話をいただきました。



山口氏は自治省や長崎県の総務部長を歴任され、その立場から見ての率直な問題提起もあり、興味深い講演でした。

編集後記

朝の涼しい風やオレンジ色の優しい夕焼けに秋を感じる頃となりました。

さて、今年の夏はロンドンオリンピックも開催され暑く、そして荒れ狂った激しい災害の記憶がまだ生々しいことと思います。この夏に負けじと今定例議会でも熱い討論がなされ、その中でも空き家条例そして追加議案の中国大連の件が最も白熱しました。議案は執行部提案を素通りさせているわけではありません。深くご理解ください。

早くも新体制での2号目となりました。ご一読の程宜しく願います。(太)

編集委員

◎松永 孝三 ○梶山 太 香月 孝夫
山口 恭寿 井手 勲 樋渡 雅純

顧問

前田 久年 占野 秀男

発行

伊万里市議会

伊万里市立花町一三五五-1

☎0955-23-2594

☎0955-22-1277

E-mail: gikai@city.imari.jp

印刷

市議会だより編集委員会
山口印刷株式会社

お知らせ

供日が近づいて参りましたが、公職選挙法の規定により、市長・議員は選挙区内の人に対して、酒食等を提供することは出来ませんので、ご了承ください。